022458	昭和維新烽火は揚る	小林秀一	言語	2	56	28
022459	アメリカ敗れたり	小山甲三	言語	2	56	28
022460	文化政策と文化運動	新野敏一	言語	2	56	28
022461	中国青年に寄す	大原洋三	言語	2	56	28
022462	在支皇国民に寄す	大原洋三	言語	2	56	28
022463	思想国防	奥邨正雄	言語	2	56	28
022464	時局と青年	下野信恭	言語	2	56	28
022465	日本武尊	鈴木啓介	言語	2	56	28
022466	日本民族の世界指導力	田島一作	言語	2	56	28
022467	民族の情熱	植草平八郎	言語	2	56	28
022468	大東亜建設読本	山川時郎	言語	2	56	28
022469	皇国政治要義	猪股英夫	言語	2	56	28
022470	勝ち抜く力	大熊武雄	言語	2	56	28
022471	ゑとおはなし：ざうとへいたいさん	大熊武雄	言語	2	56	28
022472	推進語録	大熊武雄	言語	2	56	28
022473	密林縦断血戦記	大熊武雄	言語	2	56	28
022474	天皇制と民主主義共産主義	自然坊建山	言語	2	56	28
022475	近衛内閣の頭脳を衝く：近衛をめぐる革新人物は誰々か	山内藤介	言語	2	56	28
022476	国民政治力の結集強化の問題	山内藤介	言語	2	56	28
022477	日本の自由主義革命	喬木富太	言語	2	56	28
022478	日本とユダヤの決戦	岩佐圭奘	言語	2	56	28
022479	嵐の世界	岩佐圭奘	言語	2	56	28
022480	満洲一般経済調査報告	市川正義	言語	2	56	28
022481	ナチス政策綱領	千徳岩雄	言語	2	56	28
022482	ナチス政治論	八条隆孟	言語	2	56	28
022483	国土学	前川晃一	言語	2	56	28
022484	第二の元寇	前川晃一	言語	2	56	28
022485	注意と学習の心理及び其の実験的研究	福富一郎	言語	2	56	28
022486	教育心理学概論	福富一郎	言語	2	56	28
022487	北支に於ける最近の中共活動状況	三崎良夫	言語	2	56	28
022488	歴史を創る日本民族	石坂平	言語	2	56	28
022489	小湊の栞	市原蒼海	言語	2	56	28
022490	女性の謎を科学する	筑紫英太郎	言語	2	56	28
022491	愛情の科学：恋愛術の覚書と開花から凋落まで	筑紫英太郎	言語	2	56	28
022492	欧米人は日本人をかく批評する：日本人に苦言を呈す	石部達人	言語	2	56	28
022493	欧阿外交戦線に躍る群雄	楠木淳	言語	2	56	28
022494	世界大戦勃発か？：伊エ紛争を廻る欧洲の危機と有色民族の団結	楠木淳	言語	2	56	28
022495	日本中産党創立原案	赤尾織之助	言語	2	56	28
022496	日本に何が迫るか：日本はどう動きつゝあるか	伊達圭介	言語	2	56	28
022497	軍部と行政機構改革問題：革新線上の軍部	伊達圭介	言語	2	56	28
022498	選挙に於ける軍部と政党	伊達圭介	言語	2	56	28
022499	尨大予算と我々国民の立場	志村徹	言語	2	56	28
022500	断絶後の蒋軍閥を軍部はどう膺懲するか：御前会議後の新動向	大木喬夫	言語	2	56	28
022501	増税の必然性と国民生活安定の行方：税制改革案は大衆負担を加重する	山上進	言語	2	56	28
022502	欧洲動乱は支那事変にどう響く	山上進	言語	2	56	28
022503	我は何ぞや	谷村金一	言語	2	56	28
022504	東株新旧日々高低精攬	千田理示造	言語	2	56	28
022505	歴代内閣一九二大臣：第一次伊藤博文内閣より今日まで	千田理示造	言語	2	56	28
022506	博士物語	千田理示造	言語	2	56	28
022507	議会名物男：初期議会から現在まで	千田理示造	言語	2	56	28
022508	明治・大正政変秘話：物語	千田理示造	言語	2	56	28
022509	議会乱闘史	千田理示造	言語	2	56	28